

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講習内容についての問い合わせ先 kyoumu@sta.tenri-u.ac.jp(天理大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
学校教育の諸課題とカウンセリング		中学校・高等学校教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年8月22日(水)	40人	池田 華子(天理大学・准教授) 佐々木 保孝(天理大学・准教授) 仲 淳(天理大学・教授)		
会場				
天理大学 杉之内キャンパス				
【講習の概要】				
本講習では、現在の学校教育が抱えている諸課題について、臨床教育学、教育社会学、臨床心理学の視点からアプローチします。 ①教育現場で「問題」について考える「私」を考える、②学校と地域の連携・協働、③心理カウンセリング入門の3つの小テーマに沿って講義と演習を行い、学校における教育の諸課題とカウンセリングについて考え、理解を深めます。				
【小テーマ①】 教育現場で「問題」について考える「私」を考える			1. 5H (担当講師:池田 華子)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	教育現場では日々様々な「問題」が発生し、その解決に追われていることと思います。「問題」の種類は多様ですが、多忙な日々の中では、なぜ今それが「問題」となっているのかという所まではふり返る余裕がないということもあるかもしれません。そもそもそれが「問題」であるのはなぜなのか。それを「問題」にする「私」のありようにまで立ち返りつつ、視点をリフレッシュする可能性を見つけていきたいと思っています。			
到達目標・確認指標	経験に基づく語り合い(グループワーク)を交えながら、「問題」を観察し整理する方法を身につけます。			
キーワード	語ること、ナラティブ、気づき			
【小テーマ②】 学校と地域の連携・協働をめぐる動向と課題			1. 5H (担当講師:佐々木 保孝)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	近年、いわゆるコミュニティ・スクールとして学校運営協議会を設置する学校の増加傾向はますます進んでおり、同時に、地域住民による学校支援ボランティアの活動も、地域と学校の互恵性を謳った「地域学校協働本部」の枠組みへと移行されつつあります。本時はこうした動向をふまえ、地域連携が単なる学校の負担増となってしまうための「協働」のあり方を見据えて、現状の到達点と課題を考えます。			
到達目標・確認指標	地域と学校との関係を段階的に深化させるイメージをもって、「連携・協働」の考え方を理解する。講義で扱う「課題」をふまえて、自校の現状を解釈するための視点を獲得する。			
キーワード	学校運営協議会、地域学校協働本部、チーム学校			
【小テーマ③】 心理カウンセリング入門			3. 0H (担当講師:仲 淳)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	少子化が進む一方で、より繊細で細やかな個々の児童・生徒に合わせた対応が求められるようになってきている教育現場において、これからカウンセリングやコミュニケーションのスキルはとて大切になってくると思います。せっかくの熱意や思いがあっても、一人一人のこどもたちと気持ちを通い合わせる事ができないと、生徒指導や教育相談はなかなかうまくいきません。「目に見えない相手の気持ち(心)を理解して共感的にかかわる」ということは非常にむずかしいことですが、そのためのコツのようなものをみなさんと一緒に考え、探っていきたいと思っています。			
到達目標・確認指標	まず入門①で心理カウンセリングの基本的な知識や技法について紹介させていただきます。次に入門②で学級場面でも使えるセラピー的なグループワークの体験などを通して、心と心のコミュニケーション(触れ合い)についてともに考え、理解を深められる時間にとっています。			
キーワード	カウンセリング、コミュニケーション、体験的ワーク			
試験方法	小テーマ①②については講習の最後に15分程度の筆記試験を行う。 小テーマ③については最後に20分程度の筆記試験を行う。			
成績評価の方法・基準等	各講習の最後に行う筆記試験をもとに成績評価を行う。筆記試験(小テーマ①②各25点+小テーマ③50点)で評価し、3つの筆記試験を100点満点で成績評価を行い、総合点が60点以上を合格とする。			